

令和5年度「伊勢市の認知症施策の取り組み状況」

(1) 認知症に対する理解の促進

○認知症サポーター養成講座の開催(R5.8末)

認知症に対する理解を深め、地域で見守る支援者の増加を目的に講座を開催し認知症サポーターの養成を行っている。

開催回数	延参加者数	認知症サポーター総数(※H20年度からの総数)
30回	586人	11,918人(内:キッズ 2,234人)

※随時開催中

○認知症の理解のための普及啓発・相談先の周知

・高齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」による啓発

子どもたちが日常生活での体験や読書を通じて、高齢者や認知症について考え、優しさや思いやりを育むきっかけとなるよう作文コンクールを行った。

対象： 市内小学校全学年に周知

応募数： 9学校 35点

・世界アルツハイマーデーに合わせて認知症に関する普及啓発

場所：福祉総合支援センターよりそい、小俣図書館、伊勢図書館

内容：認知症に関する書籍の企画展示、相談先の周知等

・認知症本の処方箋による普及啓発

一般社団法人伊勢地区医師会および伊勢志摩区域連携型認知症疾患センターの協力のもと、伊勢市立図書館と協働で「本の処方箋」を発行している。

巻数：11巻

(2) 認知症への早期対応の取り組みの推進

①「認知症ケアパス」の普及

○認知症ケアパスの確立と推進(R5.8末)

認知症の状態に応じた適切な支援が行われるための効果的な情報発信を目的に「認知症あんしんガイドブック(第8版)」を啓発事業や相談時に配布している。

ケアパスの種類	配布数
概要版	574冊
冊子版	135冊

○認知症地域支援推進員による事業の実施

地域における支援体制の構築及び医療と介護の連携を図るとともに、認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置し、地域の実情に応じた認知症施策の取り組みを総合的に行っている。

②認知症初期集中支援チームの機能向上

認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に早期に関わり対応を行うことにより、専門機関受診や重症化を防ぐことを目的に、認知症専門医や保健福祉の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を配置し支援体制の構築と個別の支援を行っている。

会議開催数	支援件数
2回	延3件(実件数 2件)

・年4回実施予定

(3) 地域のネットワークの強化

○認知症高齢者等SOSネットワーク「いせ見守りてらす」登録制度

行方不明になるおそれのある認知症高齢者の日頃からの見守りと、早期発見・保護を目的に認知症高齢者の登録制度を実施し、地域や協力機関でのネットワークを構築している。

登録者数(R5.8末時点)	協力機関数(R5.8末時点)
85人(R5年度10人)	43機関 138支店(R5年度5機関)

○認知症高齢者等SOS家族支援サービス

認知症高齢者等が行方不明になった場合に位置情報提供システム(GPS端末機器)を活用し高齢者の位置を特定することにより、早期発見および行方不明時の事故防止を図るとともに、在宅で介護を行っている家族の負担軽減を図ることを目的に、位置情報提供システムの貸与と初期費用の助成を行っている。

利用者数(R5.8末)
2人(R5年度0人)

○認知症高齢者等個人賠償責任保険事業(新規事業)

日常生活での偶発的な事故により、認知症の高齢者等の本人や家族が法律上の賠償責任を負う場合に、その賠償金を保険で補償する事業。保険料を市が負担。

申請者数(R5.8末)
29人

○高齢者の見守り支援等に関する協定の締結

高齢者が住み慣れた地域で自立した暮らしを安心して続けられるまちづくりを目的に、高齢者等の見守り活動や、認知症サポーターの養成等について協定を締結している。

協定の名称	締結機関(R5.8末)
高齢者の見守りと支援に関する協定	34機関

(4) 認知症にやさしい地域づくりの推進

①認知症の人の家族に対する支援

○認知症サポーターステップアップ講座の実施

認知症サポーターステップアップ講座を開催し、サポーターの継続学習の場と共に、認知症の人や家族のニーズとのマッチング等を行い、サポーターが認知症の人やその家族を支援する自主的な地域活動「チームオレンジ」につなげている。

実施回数	参加者
2回	延34人(実人数19人)

○認知症サポーターの支援体制の充実(チームオレンジ)

チームオレンジ合計数 (R5.8末)	年度別発足数			
	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
9か所	1	3	1	4

○認知症カフェや集いの場などの開催支援

地域からの孤立を防ぎ認知症の人と介護者の心理的負担の軽減を目的に、家族会やボランティア、地域包括支援センターなどが地域で開催し、連携を図っている。

認知症カフェ	集いの場
ほほえみ、あこや、さくら 地域包括支援センター主催等	認知症の人と家族の会

○スローショッピング事業

認知症の人など手伝いを必要とする人やその家族が安心して買い物ができる空間を提供する活動。認知症サポーターのボランティアが買い物を手伝い、認知症の人等があせらずに買い物を楽しむことができることを目的にしている。同時に認知症カフェを開催し、地域からの孤立を防ぎ認知症の人と介護者の心理的負担の軽減を図る。

実施回数	実施場所	参加者
1回	ウエルシア伊勢宮町店	6人(3組)

・2回目：9月28日 外宮参道にて実施

②認知症ケアの充実

- ・認知症疾患医療センターとの連携
- ・地域包括支援センターとの連携
- ・地域での認知症施策の実施